

(講座) 分子創薬科           (研究室) 薬品製造化学  
(氏名) 石原 淳           (職名) 准教授

### 【研究テーマ】

1. 機能性天然有機化合物の合成に関する研究
2. 効率的有機分子構築法の開発に関する研究

### 【論文発表】

#### A 欧文

##### (A-a) 原著論文

1. M. S. Shaheen, Y. Taira, A. Nakano, K. Takahashi, J. Ishihara, S. Hatakeyama: Organocatalytic asymmetric synthesis of quinine and quinidine, *Tetrahedron Lett.*, **52**, 923-927 (2011). (IF: 2.618)
2. J. Ishihara, Y. Watanabe, N. Koyama, Y. Nishino, K. Takahashi, S. Hatakeyama: Indium-mediated Reformatsky-Claisen rearrangement, *Tetrahedron*, **67**, 3659-3667 (2011). (IF: 3.011)
3. H. Sasaki, K. Eto, K. Takahashi, J. Ishihara, S. Hatakeyama, N. Kubodera: Synthesis of 1-deoxyeldecaltol, a biologically interesting analog of 1 $\alpha$ ,25-dihydroxy-2 $\beta$ -(3-hydroxypropoxy)vitamin D<sub>3</sub> (eldecaltol), *Heterocycles*, **83**, 1385-1394 (2011). (IF: 1.093)
4. S. Shibahara, T. Matsubara, K. Takahashi, J. Ishihara, S. Hatakeyama: Total synthesis of NW-G01, a cyclic hexapeptide antibiotic, and 34-epi-NW-G01. *Org. Lett.*, **13**, 4700-4703 (2011). (IF: 5.250)
5. K. Eto, M. Yoshino, K. Takahashi, J. Ishihara, S. Hatakeyama: Total synthesis of oxazolomycin A: *Org. Lett.* **13**, 5398-5401 (2011). (IF: 5.250)

### 【学会発表】

#### A 国際学会

##### (A-b) 一般講演

1. J. Ishihara, Y. Watanabe, N. Koyama, Y. Nishino, K. Takahashi, S. Hatakeyama: New Variant of Reformatsky-Claisen rearrangement mediated by indium chloride, 22<sup>nd</sup>, French-Japanese Symposium of Medicinal and Fine Chemistry, Rouen, France, Sep, 12 (2011).
2. K. Eto, M. Yoshino, J. Ishihara, K. Takahashi, S. Hatakeyama: Organocatalytic asymmetric synthesis of inthomycin A, B and C, L-A28, 8th AFMC International Medicinal Chemistry Symposium, Tokyo, Dec. 1 (2011).

#### B 国内学会

##### (B-b) 一般講演

1. 高橋圭介、石原 淳、畑山 範: Kaitocephalin の合成研究、29N-am07、日本薬学会第

131 年会、静岡、平成 23 年 3 月 29 日

2. 横井裕一、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：(-)-エングレリンの合成研究、30N-am15、日本薬学会第 131 年会、静岡、平成 23 年 3 月 30 日
3. 渡邊由貴、小山典子、西野幸宏、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：インジウムを用いる Reformatsky-Claisen 転位反応の開発、31P-0247、日本薬学会第 131 年会、静岡、平成 23 年 3 月 31 日
4. 松原孝昌、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：オフィオジラクトン類天然物の合成研究、31W-am01、日本薬学会第 131 年会、静岡、平成 23 年 3 月 31 日
5. 西丸達也、竹下公人、近藤維志、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：Marinomycin A の合成研究、31W-am15、日本薬学会第 131 年会、静岡、平成 23 年 3 月 31 日
6. 吉野円香、江藤康平、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：インソマイシン類天然物の全合成、31Y-pm01、日本薬学会第 131 年会、静岡、平成 23 年 3 月 31 日
7. 渡邊由貴、小山典子、西野幸宏、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：インジウムを用いる Reformatsky-Claisen 転位反応の開発、P-16、第 21 回万有福岡シンポジウム、福岡、2011 年 5 月 21 日
8. 江藤康平、吉野円香、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：オキサゾロマイシン A の全合成、2-06、第 9 回次世代を担う有機化学シンポジウム、東京、2011 年 5 月 28 日
9. 高橋圭介、山口大介、Lu Shenlei、石原 淳、畑山 範：C-H アミノ化を基盤とするカイトセファリンの全合成研究、30、第 53 回天然有機化合物討論会、大阪、2011 年 9 月 29 日
10. 浦辺郁也、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：Cinatrין C1 及び C3 の合成研究、1P-015、第 41 回複素環化学討論会、熊本、2011 年 10 月 20 日
11. 松原孝昌、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：オフィオジラクトン類天然物の合成研究、1P-016、第 41 回複素環化学討論会、2011 年 10 月 20 日
12. 高橋圭介、横井裕一、小嶺敬太、石原 淳、畑山 範：エングレリン A の全合成、10-08 第 37 回反応と合成の進歩シンポジウム、2011 年 11 月 7 日
13. 野村祐介、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：P-糖タンパク質アンタゴニスト、ウェルウィスタチンの合成研究、1C-13、第 28 回日本薬学会九州支部大会、福岡、2011 年 12 月 10 日
14. 山下裕貴、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：抗菌活性ハリクロニン A の合成研究、1C-18、第 28 回日本薬学会九州支部大会、2011 年 12 月 10 日
15. 富澤 慧、高橋圭介、石原 淳、Jacques Eustache、畑山 範：抗結核活性天然物ツガシン cmc-A の合成研究、1C-19、第 28 回日本薬学会九州支部大会、2011 年 12 月 10 日
16. 宮原哲哉、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：クルチオリドの合成研究、1C-20、第 28 回日本薬学会九州支部大会、2011 年 12 月 10 日
17. 宮本尚平、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：Conia-エン型反応の開発研究、1C-21、第 28 回日本薬学会九州支部大会、2011 年 12 月 10 日

#### 【研究費取得状況】

1. 特異な神経毒性を有する大環状アルカロイド、スピロライドの合成；文部科学省科学研

究補助金 基盤研究(C) (代表) 平成 21 年度～23 年度

**【学会役員等】**

1. 第 9 回次世代を担う有機化学シンポジウム世話人

**【過去の研究業績総計】**

原著論文 (欧文)	67 編	(邦文)	0 編
総説 (欧文)	1 編	(邦文)	4 編
著書 (欧文)	1 編	(邦文)	6 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
特許	0 件		